

EM生ゴミ発酵肥料編

家庭の生ゴミもEMを使えば、良質な発酵肥料に大変身。

用意するもの



※無くてもかまいませんが、使用することでより発酵がスムーズになります。

手順

1 生ゴミ処理バケツの底に、新聞紙を敷き、EMボカシを底が見えなくなるまでたっぷりとまきます。

※新聞紙は目詰まり予防や発酵液をこす役割があり、洗う時も便利です。

生ゴミはなるべく細かくして新鮮なうちにバケツで処理します

2 生ゴミ処理バケツに生ゴミを入れ、EMボカシをたっぷりふりかけます。その後、生ゴミとEMボカシをしゃもじなどでよく混ぜ合わせます。

途中で臭いが気になった時はEMセラミックス(テラC)を表面に軽くまぶします。

生ゴミを追加する時は、追加だけEMボカシと混ぜ合わせればOKです。底までかき混ぜる必要はありません。

より効果を高めるワンポイント

EMボカシは密封容器で保管すると便利です。また、EMボカシ300～500gに対し、テラCをスプーン1杯程度混ぜておくと、発酵肥料作りがスムーズになります。

3 2の表面にEMボカシを薄くふりかけ、上からギュッと押さえたら、フタを閉めて密封してください。

4 底にたまった発酵液は、こまめに抜き出します。

※発酵液は500～1000倍に希釈して早めに液肥として使しましょう。

出れ上がるまで発酵液が溜まらないように定期的に抜きましょう。

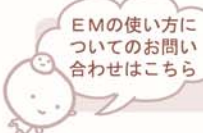
5 2～4の作業を繰り返し、生ゴミ処理バケツがほぼ一杯になったらフタをして密封し、直射日光の当たらない場所で、1週間程度発酵させます。

6 スカ漬けのような発酵臭がすれば成功です。表面に生える白いカビは良い菌ですので問題ありません。

*EM生ゴミ発酵肥料は、生ゴミをEMで発酵させたものです。EMが増殖して発酵が進んでいるため、土に混ぜると分解が進み良質な栄養源になると共に、優れた土壌改良効果があります。

ポイント

1. 生ゴミは新鮮なうちに処理しましょう。
2. 生ゴミは極力水にぬらさないようにしましょう。
3. 生ゴミはできるだけ小さく切ってください。
4. 底にたまった発酵液はこまめに抜いてください。



EM 研究機構

〒901-2311 沖縄県中頭郡北中城村喜舎場1478
TEL: 098-935-0202 FAX: 098-935-0205

<http://www.emro.co.jp>

EM生ゴミ発酵肥料で土づくり編

資源をムダなく循環させ、家庭菜園やガーデニングにも楽しく活用できます。

用意するもの



[生ゴミ発酵肥料]

※使用するEM生ゴミ発酵肥料と土の体積割合は1:3です。

1:3



[乾いた土]



[EM活性液]

米のとぎ汁EM発酵液でも可



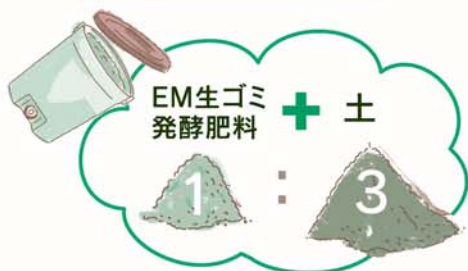
[プランターボックス]

※11Lの生ゴミ処理バケツの場合はプランター4個分。18Lの生ゴミ処理バケツの場合はプランター7個分が目安です。



[腐葉土や赤玉土 鉢底石など(適量)]

手順



- EM生ゴミ発酵肥料と土を混ぜ合わせます。
あらかじめEM生ゴミ発酵肥料と土を1:3で混ぜ合わせます。腐葉土なども適量加えます。



- 表面に乾いた土をかける
表面に見えるEM生ゴミ肥料などが隠れるように、軽く土をかけてください。

- 熟成させる
余分な水分を吸収させるため、新聞紙をかけ、その上からゴミ袋で覆い、ビニールをかけて、ひもでしばります。およそ1ヵ月で生ゴミはほとんど分解し、よく肥えた土になります。



- プランターに鉢底石などを敷きます。
プランターの通気性や排水性を高めるために、底に赤玉土や鉢底石を1~2cm敷きます。



- EM活性液を表面にかける
EM活性液か、米のとぎ汁EM発酵液を5~10倍に希釈し、土の表面がしっとりと湿るまでかけます。



- 2のプランターに1で混ぜ合わせたものを入れます。

★EM活性液や米のとぎ汁EM発酵液のつくり方はリーフレットNo.1をご覧ください。

生ゴミが土にかえったら植物を植えましょう!



EMの使い方についてのお問い合わせはこちら



EM研究機構

〒901-2311 沖縄県中頭郡北中城村喜舎場1478
TEL:098-935-0202 FAX:098-935-0205

<http://www.emro.co.jp>